

2023年2月期 第2四半期決算説明資料

株式会社アルバイトタイムス

2022年10月19日



連結業績の概要

2022年3月1日～2022年8月31日



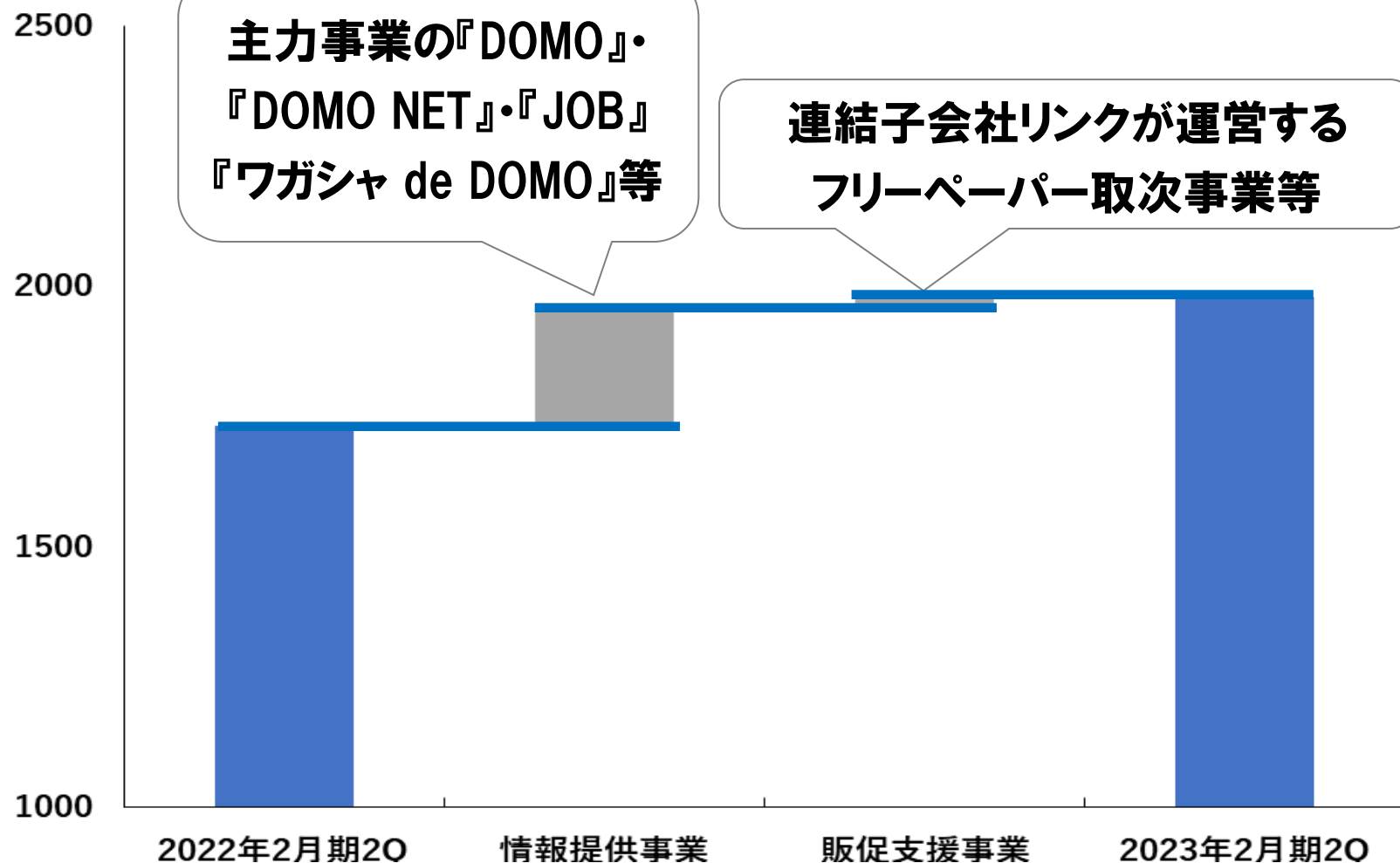
2023年2月期 2Q累計業績(PL)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2023年2月期Q2累		2022年2月期Q2累		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		1,971	100.0	1,723	100.0	247	14.4
売上原価		605	30.7	562	32.6	43	7.7
	印刷費	128	6.5	135	7.8	△6	△5.0
	労務費	50	2.5	54	3.1	△4	△7.4
	その他売上原価	426	21.7	372	21.6	54	14.5
売上総利益		1,366	69.3	1,161	67.4	204	17.6
販管費		1,404	71.2	1,246	72.3	158	12.7
	人件費	837	42.5	753	43.7	83	11.1
	広告・販促費	251	12.8	206	12.0	44	21.7
	流通費	39	2.0	40	2.4	△0	△1.8
	その他販管費	275	14.0	245	14.2	30	12.3
営業利益		△38	△2.0	△84	△4.9	46	—
経常利益		△20	△1.0	△75	△4.4	55	—
税金等調整前		△43	△2.2	△75	△4.4	31	—
四半期純利益		△23	△1.2	△64	△3.8	41	—
EPS		¥△0.89		¥△2.45			

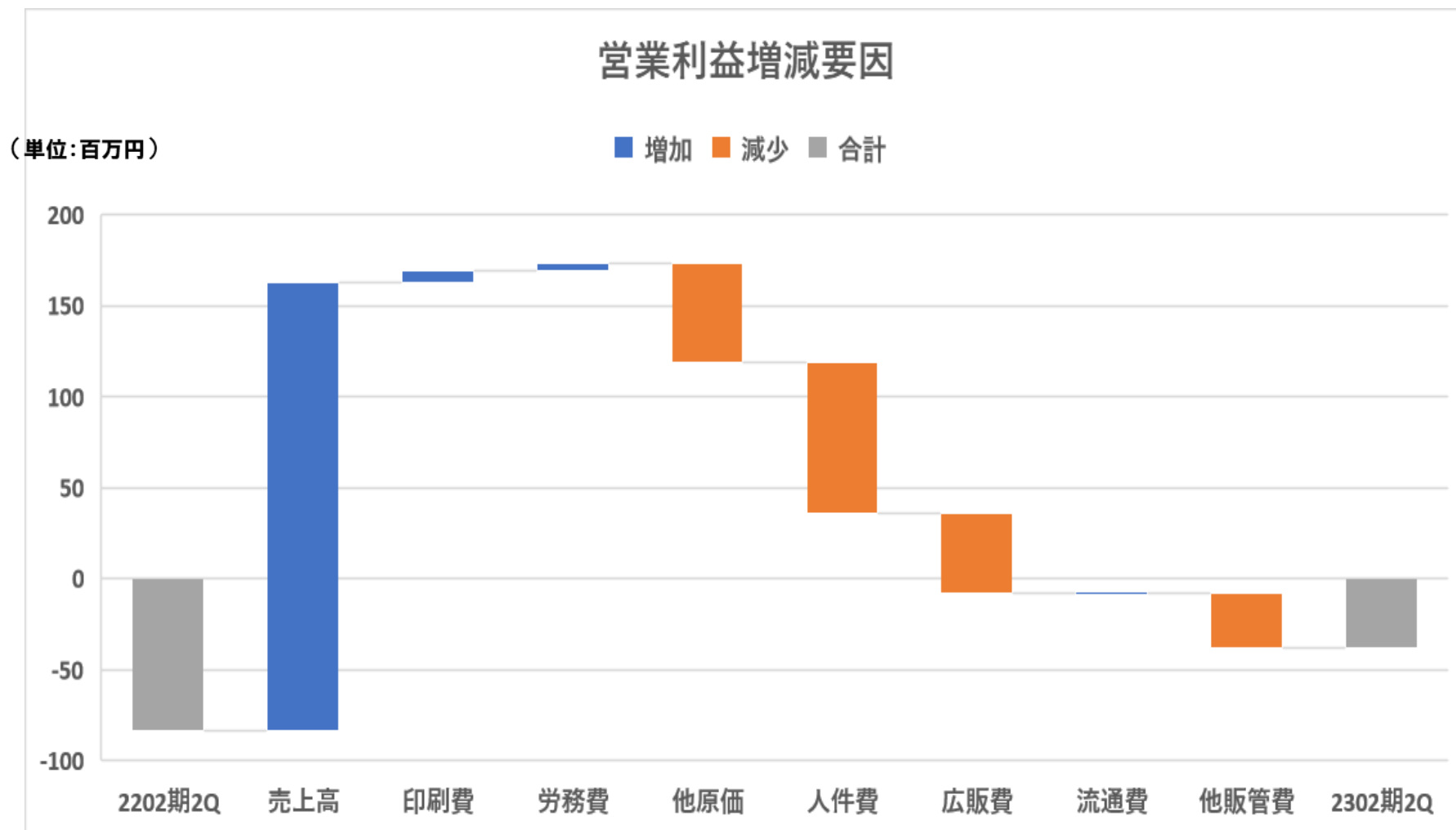


2023年2月期 2Q累計業績(セグメント別売上高)

(単位:百万円)



2023年2月期 2Q累計業績(営業利益の増減要因)



2023年2月期 2Q累計業績(BS)

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2022年8月末		2022年2月末		前期末比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
	流動資産	3,552	74.3	3,877	77.5	△325	△8.4
	固定資産	1,228	25.7	1,125	22.5	103	9.2
	資産合計	4,781	100.0	5,003	100.0	△222	△4.4
	流動負債	619	13.0	626	12.5	△7	△1.2
	固定負債	9	0.2	11	0.2	△1	△16.4
	負債合計	629	13.2	638	12.8	△9	△1.4
	資本金	455	9.5	455	9.1	—	—
	資本剰余金	540	11.3	526	10.5	13	2.6
	利益剰余金	4,185	87.5	4,439	88.7	△253	△5.7
	自己株式	△1,035	△21.7	△1,062	△21.2	27	—
	株主資本	4,146	86.7	4,360	87.1	△213	△4.9
	その他包括利益累計額	4	0.1	4	0.1	0	7.0
	純資産	4,151	86.8	4,364	87.2	△212	△4.9
負債・純資産合計		4,781	100.0	5,003	100.0	△222	△4.4
BPS		¥161.58		¥165.36			

2023年2月期 2Q累計業績(CF)

金額・増減額:百万円	2023年2月期Q2累	2022年2月期Q2累	前年同期比
	金額	金額	増減額
営業活動CF	21	16	5
投資活動CF	△132	△81	△51
財務活動CF	△181	△2	△178
換算差額	△5	△1	△4
増減額	△298	△69	△229
期首残高	3,396	3,488	
期末残高	3,097	3,419	

➤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、売上債権の減少額が60百万円、賞与引当金の増加額が25百万円となった一方で、未払消費税の減少額が48百万円、税金等調整前四半期純損失が43百万円等となったためです。

➤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- ◆ 主に、無形固定資産の取得による支出が97百万円、投資有価証券の取得による支出が27百万円等となったためです。

➤ 財務活動によるキャッシュ・フロー

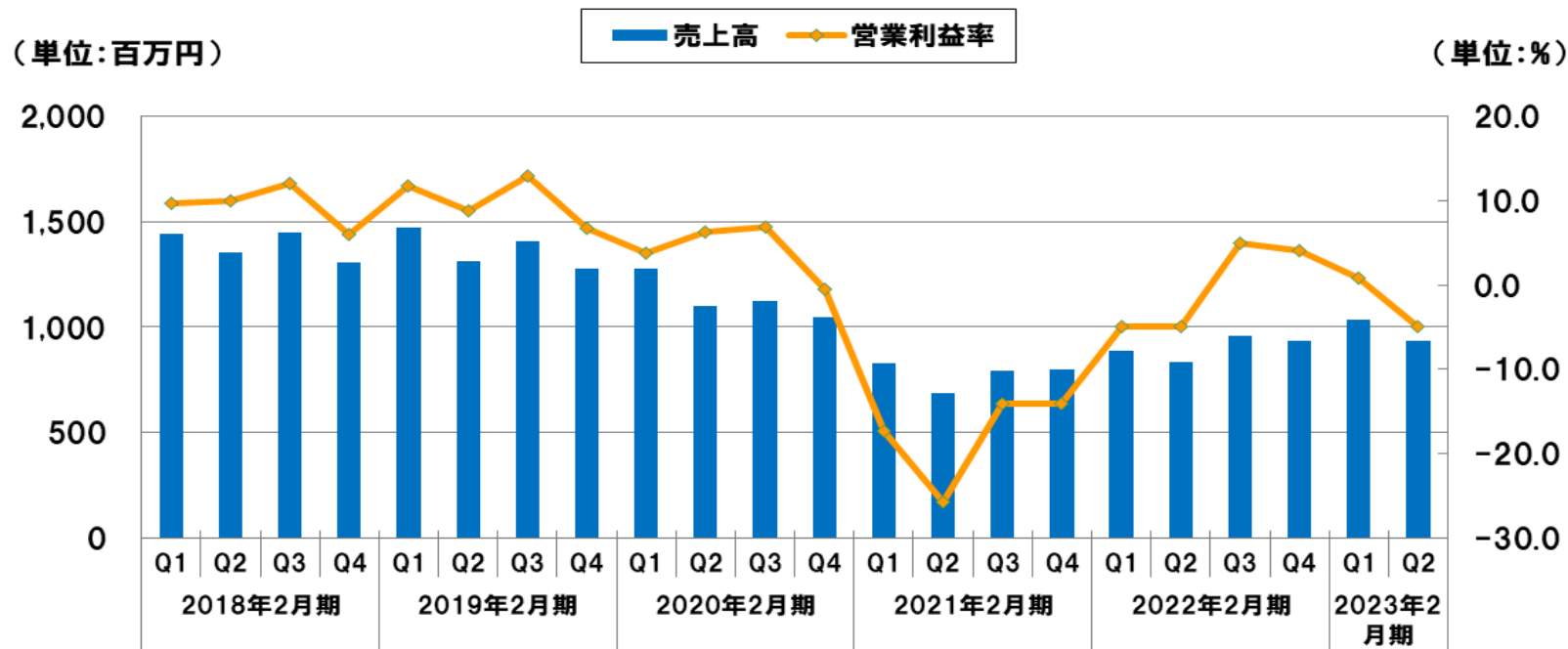
- ◆ 主に、自己株式の取得による支出が98百万円、配当金の支払額が80百万円等となったためです。

当第2四半期の総括

2022年3月1日～2022年8月31日



経営環境と業績推移



➤ 取り巻く環境と経営のあゆみ

- ◆ リーマン・ショック後、国内景気回復の中で基盤事業のサービス強化および収益の安定化を推進し、安定的な利益を計上。当期は前期に引き続きコロナ感染症拡大の影響により採用環境は依然として厳しいものの、採用マインドは下げ止まり傾向にあります。売上も徐々に回復し、コスト圧縮効果と併せ営業赤字ではありますが、損失額は減少となりました。
- ◆ 当社の今後の対策といたしましては、前期に継続し、『ワガシャ de DOMO』の拡販に注力することや当社の成長に資すると判断したコストにおいては積極的に投資していきます。また、非接触型のインサイドセールスへの転換や多様化する人材サービスを踏まえたビジネスモデルの変革等、当社の再成長に向けた事業運営を着実に推進してまいります。



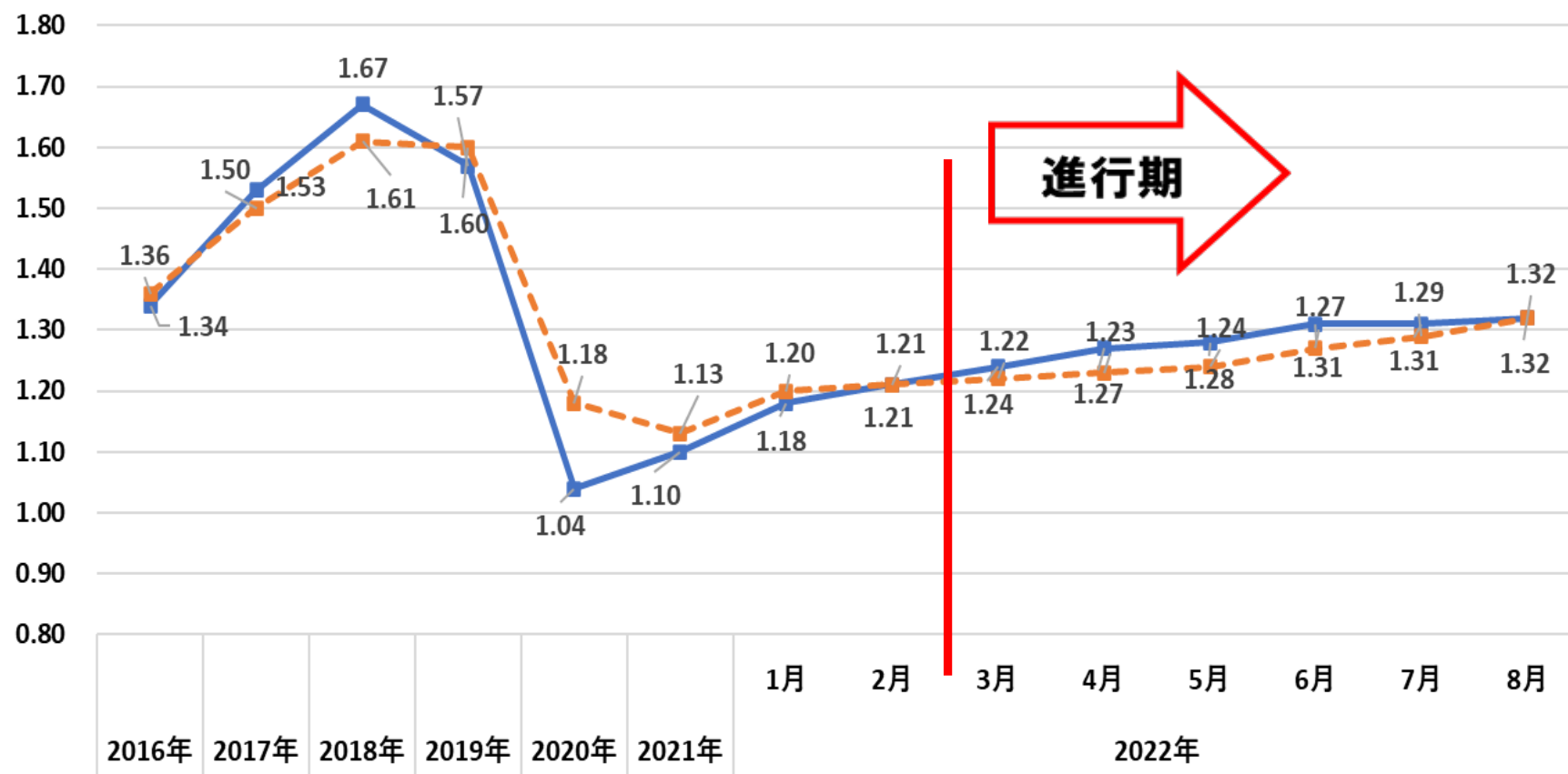
事業環境

有効求人倍率推移

(単位:倍)

—■— 静岡県 —■— 全国

出所: 静岡労働局 雇用労働統計より当社作成



重点施策

成長に向けた投資の実施

- 成長に向けた投資(販売拡大、商品力の強化、生産性向上、事業規模拡大)を実施

【コスト投資】

	2023年2月期2Q	2022年2月期2Q	前年同期比
	金額(百万円)	金額(百万円)	コスト投資(百万円)
人件費	837	753	83
広告販促費	251	206	44
計	1,089	960	128

【新規事業投資】

投資案件	金額 (百万円)
人材教育関連	62
生活支援関連	26
人材マッチング関連	27
投資計	116



重点施策

「ワガシャ de DOMO」の拡販による売上増
連結売上14.4%増を牽引

ワガシャ  DOMO!

自社専用の採用サイトを簡単に作成できる
採用管理システム(ATS)

- 利便性の追求によるオプションサービスの開発・販売による差別化を図る
- 協業パートナーとの業務提携による販路拡大施策の継続

(内部消去取引前)

売上高7億円、前期比30%増
当社グループ売上高構成比36%



連結業績予想

2022年3月1日～2023年2月28日



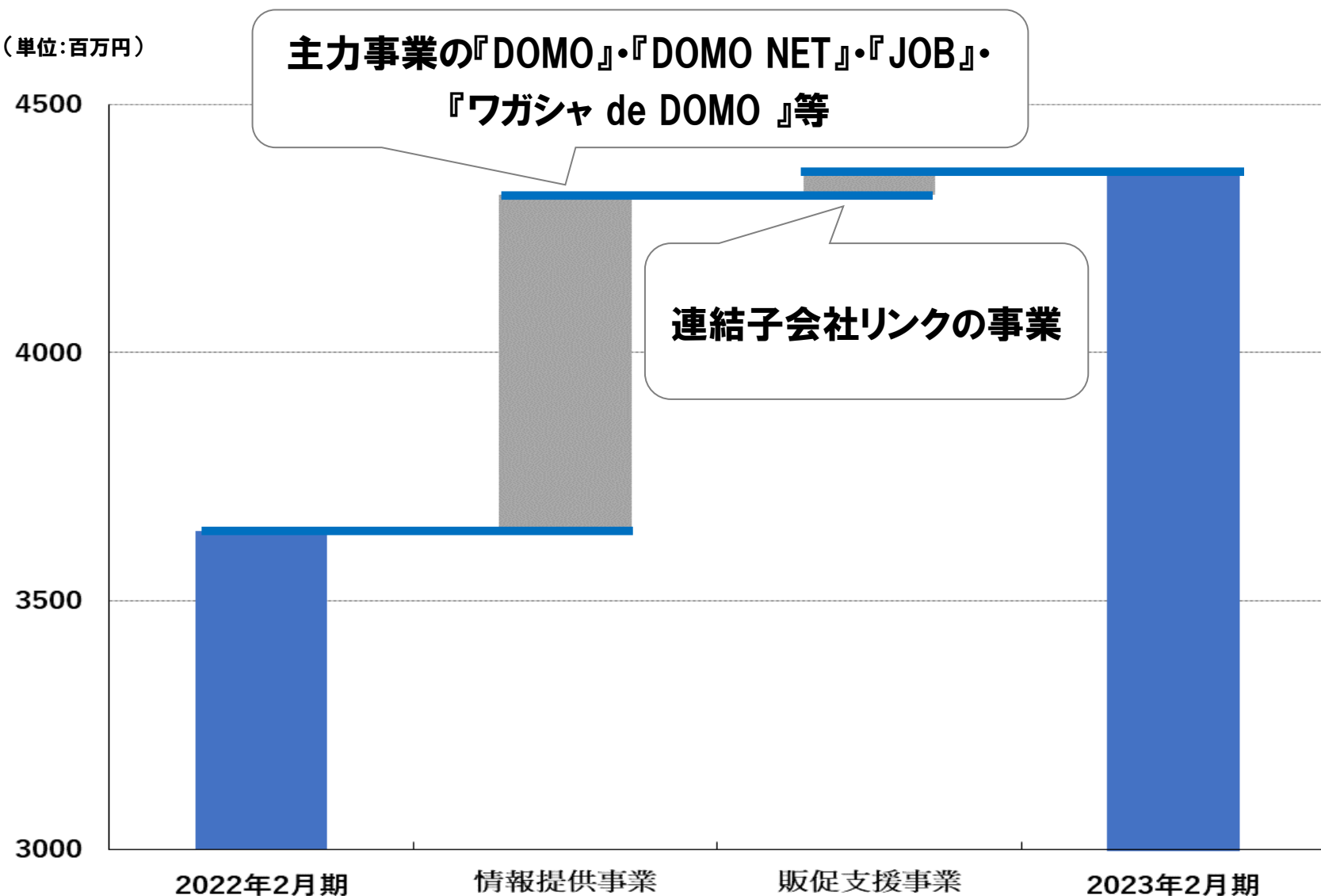
業績予想

金額・増減額:百万円 構成比・増減率:%		2023年2月期		2022年2月期		前年同期比	
		金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		4,343	100.0	3,622	100.0	720	19.9
売上原価		1,211	27.9	1,141	31.5	70	6.2
	印刷費	317	7.3	267	7.4	50	18.7
	労務費	94	2.2	125	3.5	△30	△24.6
	その他売上原価	799	18.4	747	20.6	51	6.9
売上総利益		3,131	72.1	2,481	68.5	649	26.2
販管費		3,061	70.5	2,481	68.5	580	23.4
	人件費	1,737	40.0	1,488	41.1	248	16.7
	広告・販促費	654	15.1	424	11.7	229	54.2
	流通費	80	1.9	81	2.2	△0	△0.2
	その他販管費	588	13.5	486	13.4	101	20.9
営業利益		70	1.6	0	0.0	69	—
経常利益		70	1.6	12	0.3	57	462.7
税金等調整前		70	1.6	12	0.3	57	462.7
親会社株主に帰属する当期純利益		63	1.5	39	1.1	23	59.4
EPS		¥2.48		¥1.51			



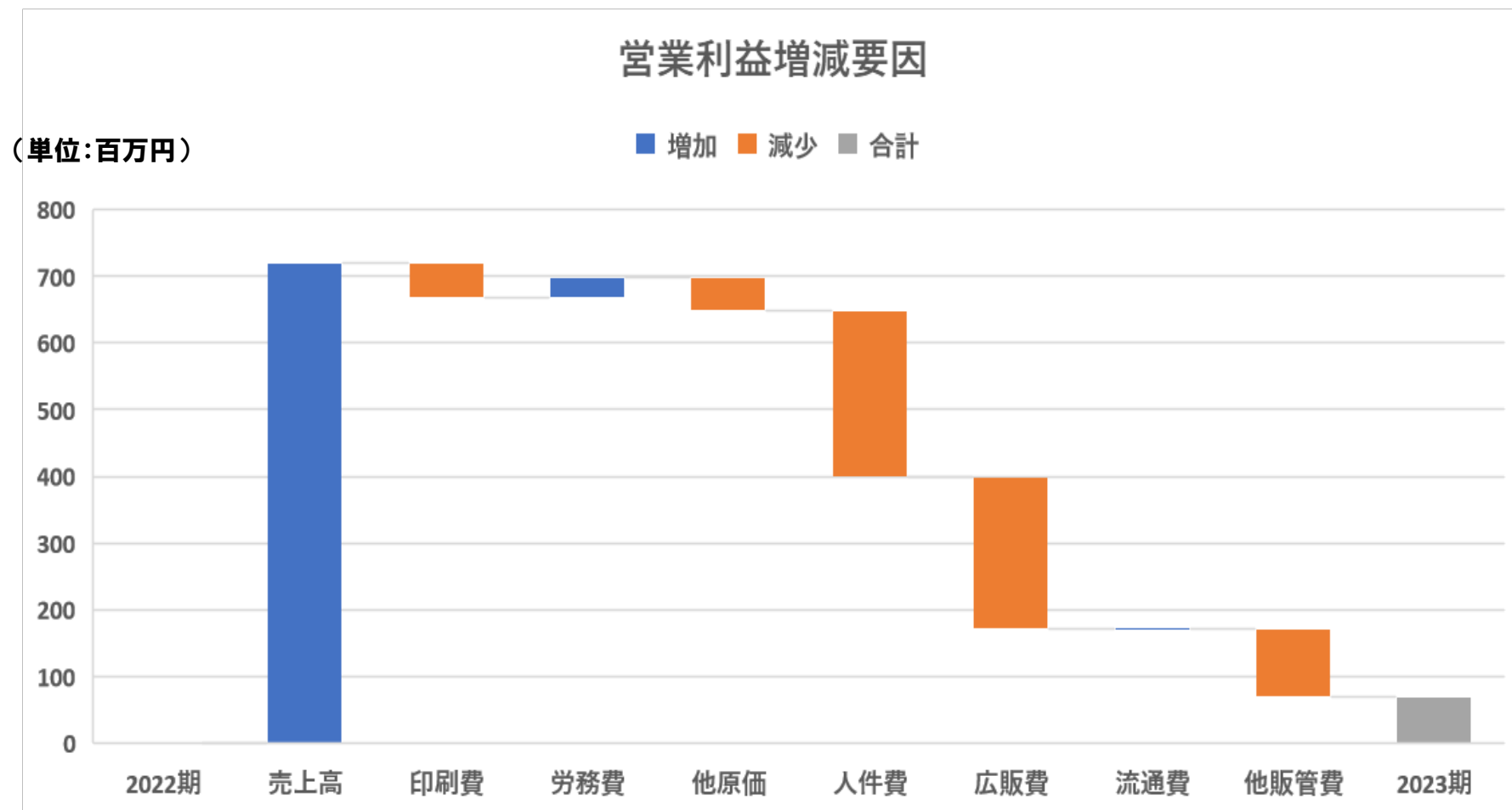
セグメント別売上高(内部取引消去前)

(単位:百万円)



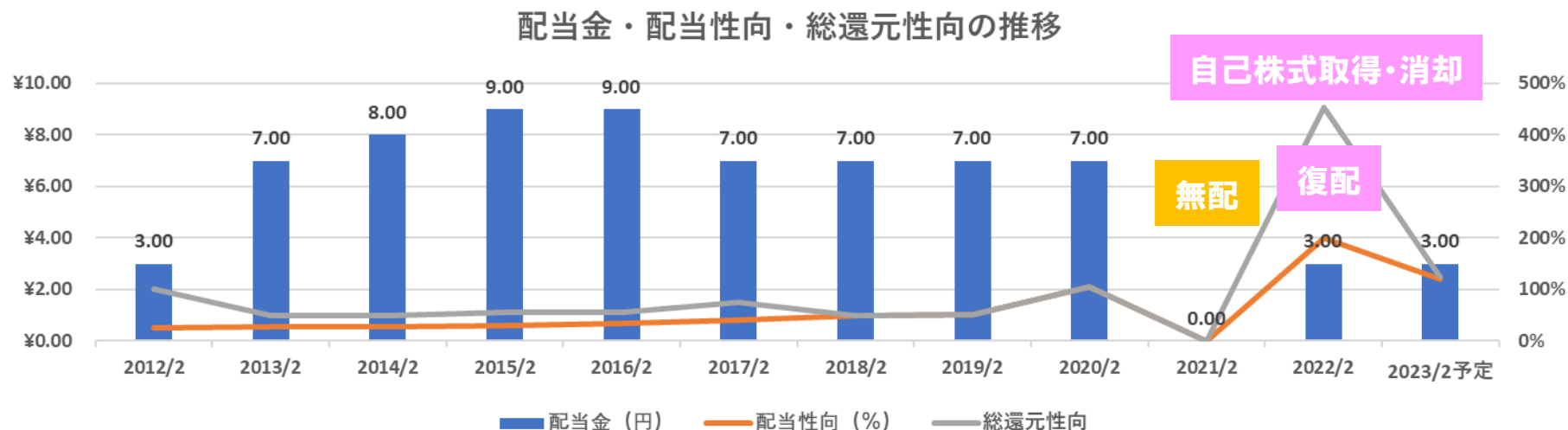
売上から営業利益までの内訳

更なる売上増に向けて要員、広告販促費拡大も黒字継続



株主還元

当期は前期同額の1株当たり3円の配当を予定しています。
株主還元として2022年4月～6月に自己株式取得、7月に消却を行いました。



当社グループは、中長期的な企業の競争力の強化と成長力の維持を可能とする投資を最優先事項と捉えています。そのため、内部留保金並びにフリー・キャッシュ・フローにつきましては、新規事業向けを中心とした投資に充当し、グループとしてのさらなる成長を図ります。

一方で、株主の皆様に対してはその投資によって得られた成果、つまり連結業績に連動した利益配分を行っていくこととし、具体的には連結配当性向50%を目処に配当を行う方針です。

2021年2月期においては、大幅な赤字転落したことを踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。2022年2月期は黒字転換を達成することことができ、今後の事業展開や当社の財務状況等を総合的に勘案した結果、復配の目処がついたものと判断されることから、2022年2月期につきましては、1株当たり3円の期末配当を実施し、次期につきましても当期同額の1株当たり3円の期末配当を予定しております。



自己株式の取得及び消却実績について

➤ 自己株式の取得及び消却を行う理由

- ◆ 将来の経営環境の変化に対応する機動的な資本政策の遂行を可能とするため、また、株主の皆様への利益還元を図るため

➤ 取得の内容

- ◆ 取得株式の種類 当社普通株式
- ◆ 取得株式の総数 700,000株
・（発行済株式総数(自己株式を除く)に占める割合 2.65%）
- ◆ 株式の取得価額の総額 96,957,100円
- ◆ 取得期間 2022年4月15日～2022年6月16日
- ◆ 取得方法 東京証券取引所における市場買付

➤ 消却の内容

- ◆ 消却する株式の種類 当社普通株式
- ◆ 消却する株式の総数 700,000株
- ◆ 消却日 2022年7月15日

➤ 参考(2022年3月31日時点の自己株式の保有)

- ◆ 発行済株式総数(自己株式を除く) 26,393,190株
- ◆ 自己株式数 5,844,059株



免責事項

本資料に掲載されている、アルバイトタイムスグループ(株式会社アルバイトタイムス及びその子会社・関連会社;以下「当社グループ」)の予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、本資料作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいています。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意ください。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響を受ける等の事情により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なることもあり得ます。



連絡先

株式会社アルバイトタイムス コーポレート本部 経営企画部

E-MAIL: ir@atimes.co.jp

HP: <http://www.atimes.co.jp>